

■ 長居球技場 5年評価

評価項目	評価の視点	評価	評価内容
質の高いスポーツ施設の管理運営	施設の管理	B	維持管理方針および維持管理業務仕様書に基づき、日常的な清掃・点検やメンテナンスを行っている。不具合が発生した設備、備品の修繕だけでなく、顧客満足度及び施設価値の向上を図るために積極的に設備の改修、投資を行っており、例えば、バックスタンドの鉄扉と手すりの再塗装を実施したことで、錆による擦り傷を未然防止すると共に施設の美化に貢献した。各施設のスポーツ備品の点検・修繕を適切に行い、利用者が安心安全に使える状態を維持できている。 また、天然芝フィールドの管理においては、常に良好な芝生の状態を保つため、月に一度クオリティ調査も実施しながら厳格に管理を行い、2024シーズンにおいてJリーグピッチ評価にて全59スタジアム中8位という高い評価を受けている。
	利用促進	B	小さい子どもと一緒に観戦したいという利用者の要望に応えるため、バックスタンドの貴賓室をキッズルームに改修するなど、多様なニーズに対応できている。また、ホームページやSNSでの情報発信において、英語、中国語及び韓国語でも発信する等、多言語化を図っている。ホームページへのアクセス数は、令和3年度から令和6年度にかけて約2.5倍に増加しており、施設利用の促進に努められている。
	安全管理	B	職員等による巡回点検を定期的実施し、施設設備の安全確認や破損等、事故に繋がる箇所の有無を点検するほか、危険と判断した場合は来場者に対して職員、警備員を配置しての安全確保を実施し、事故等の未然防止に努めている。また、近年ゲリラ豪雨や落雷が増えていることから、指定管理者独自の雷対策マニュアルを作成し、夏季を迎える前に研修を実施するなど、スタッフの教育にも積極的に取り組んでいる。 災害時の協力に係る契約を東住吉区役所と締結し、有事の際、施設を市の指定避難所として利用することを十分理解したうえで、災害発生時に迅速に対応するための対策が取られている。
	人材等の適正配置	B	施設責任者、防火管理者を配置し、監督責任体制が確保されている。また、障がい者スポーツ指導員資格を有する人材を配置し、施設の特徴に合わせた適正な人材配置をしている。
	項目評価	B	点検・修繕を適切に行い、利用者が安心安全に使えるよう日常管理がおおむね適切に行われている。また、必要に応じた研修・訓練の実施により利用者の安全確保に積極的に努めており、評価できる。今後も利用者や近隣住民のニーズに沿った利用促進に関する取組みを充実させ、更なる施設の魅力向上、利用率の向上を目指されたい。

評価項目	評価の視点	評価	評価内容
利用者満足度の向上を図るための取組み	市民サービス向上のための取組み	B+	他のJリーグホームスタジアムは年間稼働日数が30～50日程度であるところ、長居球技場は60～70日程度の稼働を実現できていることから、その適正な利用者負担が天然芝フィールド等の管理に寄与しているものと推察される。1年を通してフィールドを常緑に保つために特殊な機械の最新技術を用いる等の努力により、2024シーズンにおいてはJリーグピッチ評価にて全59スタジアム中8位という高い評価を受けた点は評価できる。
	利用者満足度の把握	B	利用形態ごとに異なる利用者アンケートや利用者満足度の調査により、施設利用者の意見を把握している。車いすでの観戦者向けに、ペーパー記入方式でのアンケートも実施しており、車いす席の高さや多目的トイレの満足度等、細かなニーズの把握に取り組んでいる。
	利用者や地域の意見反映	B+	利用者アンケートで把握した意見を施設の改善計画に繋げている。バックスタンド2階の車いす席について、オーニング TENT を設置したことで、車いすでの観戦者の雨除け、日よけができ、観戦環境を大幅に向上できている。的確にニーズを把握し、コストを割いて施設を改善する姿勢は評価できる。
	施設の設置目的に沿ったイベント等の実施	B	セレッソ大阪のホームゲームを始め、サッカー・ラグビー日本代表戦や皇后杯、ラグビーリーグワン、高校サッカー選手権決勝といった注目度の高いイベントの誘致により、スポーツによる持続可能で活力あるまちづくりに貢献できている。また、練習室等を活用し、地域に根差した自主事業やスクールを実施することで、スポーツによる健康・生きがいづくりや、人と人がつながるコミュニティづくりに貢献できている。「第2期大阪市スポーツ振興計画」の実現に寄与することを意識した取組みができている。
	項目評価	B+	市民のニーズを的確に把握して施設の改修や運営に活かすことで、施設の強みを強化できおり、市民サービスの向上に繋がっている。引き続き日頃の点検・修繕を適切に行いながら、利用促進に関する取組みを充実させることで、更なる施設の魅力向上、利用者満足度の向上を目指されたい。

評価項目		評価の視点	評価	評価内容
長居球技場のポテンシャルを活かした事業展開	施設の利活用（球技場・練習室・会議室）	平日利用の少ない施設を活用し、施設の稼働率向上と施設利用者へのサービス向上を図る取組みがなされているか。	B	平日午前中の練習室の利用が少ないことが課題であったが、利用できる種目数（ハンドボール、バドミントン、バレー、卓球、フットサル、バスケットボール等）を増やすことで、利用率を向上させた。また、空調が完備されていることやアクセスの良さをPRすることで、社会人ハンドボールクラブやシニア層の練習場としての立ち位置も獲得できており、スポーツを通じた生活の質の向上と健康長寿への取組みを実践することができている。
	長居公園全体との連携、賑わいの創出	長居公園内の別の事業者が管理する施設や園地等との間で、相互に情報共有、連携を図り、公園利用者等の利便に配慮し、長居公園全体の賑わいを創出するような施設運営ができているか。	B	長居公園の指定管理者と連携し、公園内の施設と相互の情報発信を実施したり、ヤンマースタジアム長居での大規模イベント開催時に補助機能を果たすなど長居公園全体として相乗効果が得られるようにしている。 また、セレッソ大阪のホームゲーム時にはスタジアム周辺だけでなく、公園全体を活用したスタンプラリーやキャンペーンの実施、ブース出展等で公園全体の賑わいづくりや長居公園をより知っていただく機会創出に努めている。
	地域や市民との連携、協働	周辺地域や市民との連携、協働が図られているか。	B	東住吉区内の幼稚園を対象に天然芝フィールドを開放し、体操やサッカー教室等のプログラムを実施することで、地域の子どもの健全な育成に寄与できている。また、地域の職業訓練センターや就労支援施設と連携し、スタジアムの清掃等の業務を依頼することで、障がいや疾患のある方の職業技能向上や社会参加を支援している。
	独創性の高いイベント等（スポーツ以外）の実施	スポーツに限らず、既存施設を活用し、球技場のポテンシャルを活かした独創性のある利用者の新たなニーズを掘り起こすような魅力ある事業ができているか。	B+	天然芝フィールドにおける結婚式の前撮りや、スタジアム3階のラウンジエリアにおけるブッフスタイルのパーティープランの実施は、施設のポテンシャルを活かした独創性の高い事業と言える。パーティープランについては、法人利用にとどまらず地域の自治会や同窓会での利用もあることから、地域のコミュニティの活性化に寄与できている。
	項目評価		B	市民のニーズを的確に把握して施設の運営に活かすことで、施設の強みを強化できており、施設のポテンシャルを活かした事業展開ができている。引き続き、独創性の高いイベントや利用促進に関する取組みを充実させることで、更なる施設の魅力向上を目指されたい。
評価項目		評価の視点	評価	評価内容
管理経費の縮減	収支の健全性	収支状況は健全なものとなっているか。	B	原材料価格、エネルギーコストの上昇や労務単価、最低賃金の上昇に伴い年々支出は増加しているものの、経費削減に取り組んでおり、収支はおおむね健全であるといえる。
	管理経費の縮減	管理経費の縮減に努めているか。	B	バックスタンド内の照明のLED化を推進しており、スタジアム内の照明を95%以上LED化している。メインスタンドの電気、空調は集中リモコンにより一括管理することで、無駄を削減し光熱費の縮減に繋げている。また、メインスタンドの屋根に太陽光パネルを設置しており、発電した分は電力会社からの購入を減らすことができるため、環境に配慮した経費削減に努められている。
	項目評価		B	環境保全にもつなげる経費削減の取組みを進めており、評価できる。

評価項目		評価の視点	評価	評価内容
社会的責任・市の施策との整合	環境保全	環境保全に配慮された取組みになっているか。	B	指定管理者においてサステナビリティポリシーを定め、スポーツに親しめる環境を次世代に残すことを目指しており、例えば天然芝の再利用、段ボールのリサイクル、廃食用油脂のリサイクル、雨水の再利用及びメインスタンドの屋根への太陽光パネルの設置など、環境に配慮した施設運営に努められている。
	就職困難者雇用	就職困難者等の雇用への取組みは十分か。	B	地域の職業訓練センターや就労支援施設と連携し、スタジアムの清掃等の業務を依頼することで、障がいや疾患のある方の職業技能向上や社会参加を支援している。
	個人情報等の取組み	個人情報保護や人権への取組みなどは適切になされているか。	B	法人として、プライバシーポリシーを策定の上、個人情報保護管理者を配置している。プライバシーマークも取得しており、情報セキュリティに関する研修を定期的実施し、適正な個人情報保護対策が取られている。
	職員研修等	職員への研修・マニュアル作成等の取組みが適正に行われているか。	B	人権や情報セキュリティ、ハラスメント防止に配慮した研修等を実施しており、取組みが適正に行われていた。また、指定管理者独自の雷対策マニュアルを作成し、夏季を迎える前に研修を実施するなど、施設の特性上必要となる研修も実施している。
	項目評価			B

総合評価			B	<p>天然芝フィールドの管理に特に力を入れて取り組んでおり、ワールドカップ会場として実績のあるカシマサッカースタジアムの芝生管理を担っているインターナショナルゴルフマネジメントへ委託したり、特殊な機械の最新技術を利用する等、施設の特性を活かすために投資している点は評価できる。</p> <p>また、市民のニーズを的確に把握し、施設改修や運営の改善に活かすことができている。バックスタンドの貴賓室のキッズルームへの改修、車いす席にオーニング TENT を設置する等、積極的に多様なニーズに対応していく姿勢は評価できる。</p> <p>引き続き、大阪市スポーツ振興計画の実現に寄与することを念頭に置いた適正な施設の管理運営を実施いただき、施設の魅力をさらに向上させる取組みにも期待したい。</p>
------	--	--	---	--

評価	基準
S	事業計画又は本市の定める水準の想定を大幅に上回る効果が得られた。
A	事業計画又は本市の定める水準で想定した以上の効果が得られた。
B +	おおむね事業計画又は本市の定める水準どおりの効果が得られており、評価すべき良点が認められる。
B	おおむね事業計画又は本市の定める水準どおりの効果が得られた。
B -	おおむね事業計画又は本市の定める水準どおりの効果が得られたが、工夫の余地があると認められる。
C	事業計画又は本市の定める水準で想定した効果が得られていない。